

質問回答

平成 25 年 8 月 26 日

「ベトナム国ベトナム日本人材協力センター・ビジネス人材育成プロジェクト(ビジネスコース運営管理(第4年次))」
(公示日:平成 25 年 7 月 31 日 公示番号:1)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 P21 ~ (2)技術協力 成果品 / 技術協力成果資料	・教材等資料の著作権・事後利用について講座で用いる教材等の資料について、成果物として納品するようとの指示がありますが、著作権の扱いについての記述がありません。教材には本業務前からコンサルタントが有していたコンテンツが含まれる場合がありますが、その著作権の帰属や、その後の教材・コンテンツの使用について、貴機構の規定をご教示下さい。	本プロジェクトにおける当該資料の著作権についてはJICAに帰属いたします。この点については契約で規定いたします。
2	業務指示書 P22 3. - (2)閲覧 資料	ウ及びエの資料につき、入手方法をご教示下さい。	ウについては当機構にお越しいただいたうえでの資料閲覧になります。 エの業務完了報告書については、メール添付での送付も可能です。ただし、お送りできる情報の取捨選択のため、お時間をいただくことを予めご承知おきください。
3	業務指示書 P6、第9 プロポーザルの評価、1 - (2) および 業務指示書 P15、第4年次ビジネスコーススケジュール(案	・総括・運営管理の人月について 業務指示書 P6、評価対象とする業務従事者(総括 / 運営管理)の予定人月数が 5.92M/M とあります。P15 のVJCC策定の計画案では同人の人月が現地3、国内1で計 4M/M になりますが、これはあくまでスケジュール案の一例で、実際の総括 / 運営管理の人月は 5.92M/M ということよろしいでしょうか。	・P15 のスケジュール(案)はコース運営の一案になります。なお P6 の M/M については P15 の「総括/運営管理」欄の業務のほかに、経営塾運営支援についての業務も見込んでいるものです。

4	<p>P6 第9 プロポーザルの評価 1. プロポーザルの評価基準 (1) 評価対象とする業務従事者の担当分野 (2) 評価対象とする業務従事者の予定人月数 & P15 第4年次 ビジネスコーススケジュール(案)</p>	<p>P6では、評価対象者とする業務従事者の担当分野は、「総括/運営管理」のみで、その予定人月数が5.92M/Mとの記載です。 一方、P15の第4年次ビジネスコーススケジュール(案)では、総括・運営管理の業務日数は、現地業務日数90日、国内業務日数20日 合計110日との記載があり、5.92M/Mとは大きな相違があるように思われます。 ご確認をお願いいたします。</p>	<p>・P15のスケジュール(案)はコース運営の一案になります。なおP6のM/MについてはP15の「総括/運営管理」欄の業務のほかに、経営塾運営支援についての業務も見込んでいるものです。</p>
5	<p>P21 第3 業務実施上の条件 2. 業務量の目処及び業務従事者の技術分野 業務量の目処:14M/M & P15 第4年次 ビジネスコーススケジュール(案)</p>	<p>P21では業務量の目処は、14M/Mと記載されています。 一方、P15の第4年次ビジネスコーススケジュール(案)では、業務日数総合計は、現地業務日数327日、国内業務日数93日 合計420日との記載ですが、新積算基準では、現地業務日数327日 = 10.9M/M (= 327/30)、国内業務日数93日 = 4.65M/M (= 93/20) 合計420日 = 10.9M/M + 4.65M/M = 15.55M/M となります。業務量の目処のM/Mを15.55M/Mと理解してよろしいでしょうか？ご確認をお願いします。</p>	<p>・P15のスケジュール(案)はコース運営の一案になります。業務量の目途についてはP21の方をご参考にしてください。</p>

以上